

Aa [ei,ei]

「自然や環境」のことに触れなくなったり、
ライフスタイルを考えたりするヒントが
この「エイ・エイ」の中に入っていますヨ。

C O N T E N T S

- ◆100年の森の絵本を紹介します。
- ◆情報交流コーナー:あま・あま・ポン
・尼崎の森中央緑地「パークセンター」
がオープン、あまがさき物語
・尼崎21世紀の森の歌の紹介
- ◆尼崎21世紀の森LIFE:
・尼崎運河クルージング
・「森の会議」で楽しいことを話し合う
- ◆What's「尼崎21世紀の森づくり?」



「ei,ei」
Aa
〔環境とライフスタイルを考えるフリーマガジン〕2014年9月1日発行 NPO 尼崎21世紀の森 <http://www.amaz1mor1.net/>

個人限定



毎月1万円
契約期間2年

育てる苗木で育つ預金

定額積立定期預金

どんぐりの木
き

お取扱い
期間

平成26年6月2日～平成26年10月31日(第4回目/全5回)

第4回:平成26年6月2日～10月31日 第5回:平成27年6月1日～10月30日

1.新規ご契約時に「花の種」をプレゼント

2.満期時にはエコバックをプレゼント

※満期時のプレゼントは、当初ご契約いただいた本商品の目標積立額の到達が終了されたお客様にのみです。

「どんぐりの木」は、一般財団法人 尼信地域振興財団より50万円を財団法人 ひょうご環境創造協会に寄付し、「尼崎21世紀の森づくり」の活動にお役立ていただきます。

「あましん」環境活動
NEWS

- ◆平成26年6月28日「尼崎の森中央緑地」で、ボランティア活動として、「尼崎21世紀の森づくり」の除草活動を行いました。参加した当金庫役員とその家族によって、これまで植樹してきた「あましん活動の森」を中心に活動を行いました。参加者は、苗木と雑草を見分けながら一生懸命汗を流しました。
- ◆あましんでは、「尼崎21世紀の森づくり」の一環として、「尼崎の森 中央緑地」において「あましん植樹祭」を平成23年より、実施しています。



「尼崎21世紀の森づくり」を応援しています。



尼崎信用金庫

AMASHIN

<http://www.amashin.co.jp>

あましん 検索



尼崎の森中央緑地

「100年の木の物語」の絵本ができました。

主人公は、尼崎に住む小学1年生の「みどりちゃん」。

尼崎に住む小学校1年生の「みどりちゃん」がおばあさんになるまでの人生を通して、苗木が森へと成長していく様子を、四季折々の森の変化や、森の虫や野鳥などの生きものの、森での楽しみなどを織り交ぜて描いた物語です。子どもたちが、自分の未来と重ね合わせて、森の成長を想像できる内容になっています。



◆文: 守 宏美(もりひろみ)
阪神南県民センター職員(尼崎の森中央緑地森づくり担当)。

◆絵: 阿部 紀子(あべのりこ)
県立人と自然の博物館フロアースタッフや県立一庫公園、自然環境学習推進員として、自作のイラストを用いた環境学習を実施。

尼崎の臨海部にある「尼崎の森中央緑地」では、100年の森づくりを進めています。ここは昔、製鉄所などの工場があった場所で、現在は荒野のような空き地が広がっています。ここに20万本の苗木を植えて、ふるさとの森を創造するのです。

2006年から荒地に苗木を植え始め、今では苗木が6、7mまで成長し、小さな林になっています。鳥や昆虫など、いろいろな生き物の営みも見えるようになってきました。100年の森づくりは、まだ始まったばかりです。この森づくりを、次世代を担う子どもたちにも知ってもらいたいという願いをこめ、この絵本を作成しました。

※この絵本は、左記の場所でお渡ししています。

◆尼崎の森中央緑地パークセンター
◆阪神南県民情報センター



みどりちゃんは、中学校3年生になりました。

苗木を植えて、7年がたちます。

苗木は、みどりちゃんの背をはるかにこえています。

工場の跡地に、小さな森が生まれました。

「100年の森の物語」から



尼崎の森中央緑地「環境体験学習のクルーを募集します!!」

・尼崎の森中央緑地では、小学校3、4年生の環境体験学習を行っています。この環境体験学習をサポートする環境体験学習クルーを募集しています。(クルーに興味のある方は、お気軽に下記までご連絡ください)

こんな方におすすめ

- ・教員志望の方や環境教育に興味のある方。(環境体験プログラムの実習体験ができ、授業スキルを磨くことができます)
- ・自然体験のプログラムやワークショップ企画を自分でつくってみたい、学びたい方。
- ・子どもと一緒に自然を学びたい方や自然クラフトをやりたい方。

申込み・問合せ

兵庫県阪神南県民センター 尼崎21世紀プロジェクト推進室/担当: 守
〒660-8588 尼崎市東難波町5-21-8 TEL: 06-6105-4433 E-mail: ama21@pref.hyogo.lg.jp
尼崎21世紀の森 ウェブマガジン <http://ama21mag.jp/>



尼崎の森中央緑地

「パークセンター」がオープンしました。

100年の森づくりを進める「尼崎の森中央緑地」に、パークセンターが5月31日(土)にオープンしました。当日は、5月とは思えない暑さとなりましたが、県・尼崎市の関係者をはじめ多くの皆さんに出席いただき、盛大なオープニングセレモニーや環境学習の模擬授業が行われました。

パークセンターは、兵庫県産材を活用した木造平屋建てで、屋上には太陽光発電、屋上緑化スペースを設けるなど省エネルギーに配慮した建物となっています。

小学生をはじめとするたくさんの方々に、環境学習、植樹・育樹やまちづくりの活動拠点として広く、活用してもらって、もっともっと「尼崎21世紀の森」がにぎわうことを願っています。



「尼崎の森中央緑地」から一番近い若葉小学校児童のくす玉開披によってセレモニーがはじまりました。



【記念植樹】
・パークセンター前の「みなの花野」で植樹。
※なでしこ、ききょう、彼岸花などの秋の野草が植樹されました。



【模擬授業(100年の森の物語を使って)】
※本誌1~2ページで紹介している「100年の森の物語」の絵本を紙芝居にして。



【模擬授業(苗木の鉢上げ)】
・作業棟の土間で鉢上げの授業。
※小学生は、ほんとうに真剣に取り組んでいました。



【作業棟】
・木造平屋建 延床面積192m²
・作業体験スペース、ミーティングルーム
※奥にはシャワールーム付きの更衣室も。外の作業でかいた汗を流して気持ちいい。



【学習棟】
・木造平屋建 延床面積499m²
・学習室(140m²:120名) 授乳・救護室、事務スペース
・太陽光発電(太陽電池容量30KW 一般家庭4軒分)
・屋上緑化(野芝約65m²)

あまがさき物語

【第15回】

「尼崎には少し見えにくいけれど、たくさん歴史の足跡がある」

平成21年移転オープンした「尼崎市立文化財収蔵庫」の学芸員の楞野(かど)さんに施設を案内していただきました。元々の場所は、尼崎城の本丸があったところ。昭和8年に市立尼崎高校の前身である尼崎高等女学校として竣工。その後、市立尼崎高校、城内中学校と使われてきました。尼崎の学校建築物では最古のもので、その趣のある建物の魅力で映画「ALWAYS 三丁目の夕陽」の撮影では、音楽室や病院として使われました。

「楞野さんのお話」もともと尼崎は、弥生時代から田能遺跡のように大きな遺跡があり、古くから淀川、神崎の三角州に開けた港として栄えた地域です。平家物語で義経が都を追われ、出港した「大物」を中心にして、瀬戸内海の東の良港として発達してきた町です。

江戸時代では、阪神間で唯一の藩として尼崎城が置かれ、大坂城の西の備えとして非常に重要な役割がありました。

明治以降は、阪神工業地帯の中核として存在して来ました。少し見えにくいけど、尼崎にはたくさん歴史の足跡が町中にあります。

この「文化財収蔵庫」に、多くの市内外の方に訪れていただき、尼崎のそれらを知ってもらいたいイメージを少しでも変えていただきたいと思います。」



尼崎市立文化財収蔵庫学芸員・楞野さん



ALWAYS三丁目の夕陽64

尼崎城と城下町の模型や時代ごと発掘された文化財がわかりやすく常設展示されています。なかでも、武庫の庄遺跡から出土した巨大な柱や園田駅周辺で発見されたイイダコ漁の蛸壺(鹿の絵入り)など貴重なものもたくさんあります。



太閤記の一場面



出土した蛸壺

秀吉の朱印状(初公開)

平成26年春から、年間5回の予定で企画展が開催され、その第1回として「秀吉尼崎の危機」展が行われています。

天正10年(1582)6月2日、備中高松で毛利氏の軍勢と対戦しているときに、「本能寺の変」で主君織田信長が討たれたため、秀吉は黒田官兵衛の進言により、毛利氏と和議を結び、大急ぎで姫路を経て、尼崎へ戻り、山崎の合戦で明智光秀を討ち取ります。世にいう「秀吉の中国大返し」です。この時、

強行軍で尼崎にいた秀吉が、禅寺で休息をして、その際に髻(もとどり)を切って、沐浴したことが「尼崎危難伝説」につながっています。

「尼崎危難伝説」には、「秀吉は、光秀を討つため先を急ぐあまり単騎となって武庫川辺りまでやってきたが、明智勢の待ち伏せにあいどうにかこれをやり過ぎて、尼崎の寺に逃げ込みました。秀吉は浴室で僧に姿を変え、台所で食事の準備をしていた僧たちに紛れて危難から逃れた。」というものです。

のちの「絵本太閤記」などにもこの話が「尼崎の段」や「姉ヶ崎大合戦」などに馬を担いだ敵の武将から逃げる秀吉の姿が誇張され描かれたりしています。

現在、大河ドラマ「黒田官兵衛」が放送されていますが、その安土桃山時代の展示品もたくさん展示されています。中でも秀吉から尼崎の郡代であった建部寿得(たけべじゅとく)に宛てた朱印状(尼崎市指定文化財)や、江戸時代の人形浄瑠璃や歌舞伎で取り上げられた絵本太閤記の尼崎の段などの錦絵など貴重な資料が展示されていて、歴史の重要な舞台としての尼崎の魅力がわかり易く展示されています。

これからも、次々に企画展が開催されますので、あなたも一度「尼崎市立文化財収蔵庫」に行ってみませんか？

- ◆ 電話 (06) 64899801
- ◆ 開館 午前9時~午後5時30分
- ◆ 休館 月曜日(祝日の場合)、直後の平日
- ◆ 入館料・無料

(広報部つたえ隊 田中弘之)

尼崎21世紀の森

のテーマ曲です。
みんながよく知っているポランド民謡「森へ行きましょう」のメロディです。いろんなときにみんなで楽しく歌いましょう!



- 1 森をつくりましょう あまがさき(アハハ) わんがんの(アハハ) この場所に 苗木の里親 集まって(アハハ) 100年の(アハハ) 森づくり
(*)ランランラ ランランラ
- 2 森をつくりましょう あまがさき(アハハ) 花の咲く(アハハ) 森つくり
みんなと一緒に 木を植えよう(アハハ) 楽しい(アハハ) 森づくり
(*)繰り返す)
- 3 森をつくりましょう あまがさき(アハハ) 未来の(アハハ) まちづくり
自然がいっぱいの 森づくり
鳥たちも(アハハ) 歌ってる
(*)繰り返す)

What's 「尼崎21世紀の森づくり？」



尼崎臨海部にかつての自然環境＝美しさを取り戻したい。
日本の発展を支えてきた誇りを取り戻したい。
かつてこの地に存在した人間の活気を取り戻したい。

そんな願いを込めて、平成14年3月に
『尼崎21世紀の森構想』は、策定されました。それが尼崎市全体に
美しさと誇りと活気を取り戻すきっかけになれば、という希望を持って。

江戸時代



この尼崎には尼崎城という江戸幕府の直轄地であった、大坂の西の玄関口を守る重要拠点があったのをご存知ですか？

明治から昭和



この尼崎臨海地域が関西の重化学工業の中心集積地として、わが国の産業や経済の高度成長を支える役割を担っていた事をご存知ですか？

近年



巨大工場が建設され一時的に臨海部での産業の活性化に期待が高まるも、世界経済の波の中で再び冷え込んでいる事をご存知ですか？

一緒に尼崎21世紀の森づくりをしませんか！
編集スタッフを募集しています。

「環境とライフスタイル」を考えるフリーマガジン

エイ・エイ：2014年7号(9月1日発行)
NPO尼崎21世紀の森 Aa 編集局
ホームページ <http://ama21mori.net/>
〒660-0815 尼崎市杭瀬北新町3-2-2 大信ビル3F
TEL 090-8233-4079



Chief Editor 岸本 幸三
Editor/Writers 阿部 利雄 田中 弘之 森上 恒
池田 和也 春田 孝文 藤原 悟
薄井 洋一 廣川 雅英 山口 東吾
作田 祥介 守 宏美
Designers 児玉 泰江 杉本さやか 田万まどか
鳥山 大樹 ヒロコ・TG 山口 健太
Print ウニスガ印刷(株)

明治の初め



この瀬戸内海が「世界で最も魅力的な景観」と絶賛されていたのをご存知ですか？

昭和40年代



この尼崎市が国道43号・阪神高速神戸線とともに公害問題が深刻化し、「公害のまち」という不名誉な称号を与えられた事をご存知ですか？

これから『尼崎21世紀の森構想』

かつての自然環境＝美しさ
日本の発展を支えてきた誇り
人間の活気
を取り戻したい。



環境改善を利用した先進的な「まちづくり」それが『この尼崎21世紀の森構想』の本質です。ナカナカ素敵な計画だと思いませんか？100年間のこの計画、進めて行けるのは、この尼崎が大好きな一人ひとりの市民、企業の皆さんなのです。

編集後記
「武庫川女子大学で建築を学んでいる女子大生です。大学の講義で尼崎 21世紀の森プロジェクトを知り、まちづくりに興味があった4人で森の会議に参加しました。そこで『Aa』の編集長の岸本さんに声をかけていただき、私たちも編集に携わることになりました。これから、『Aa』に携わる皆さんと共に面白いアイデアを女子大生の視点から提案していきたいと考えております。まだまだ未熟な私たちですがよろしくお願ひします。」
武庫川女子大学
池添恵美 小川陽香
中山優奈 吉田梨恵

「尼崎運河」は、楽しいこといっぱい!

運河クルージングを堪能する

水辺を感じる、恒例の尼崎運河クルージングが今年の5月に行なわれ110名の乗船があり大盛況でした。クルージングは、キャナルベース前水質浄化施設から乗船して、湾岸高速線の下を通ります。海上から高速道路を見る機会は、そうそうありません。スゴイに付きます!



尼ロックの外洋側のトビラが開き始める

運河沿いに立ち並ぶ工場群を裏側から見学。パドルボードレッスンもあります。鉄塔、煙突、水門…運河から眺める魅惑の工業地帯ツアーです。



海岸高速線を海上から見上げる

地帯の裏側から見学!。パナマ運河方式で潮位差を調整して出入りする尼ロック(閘門)は、圧巻で、運が良ければ、大きな潮位差がうみだす、滝のような姿を見ることが出来ます。

また、運河沿いには、遊歩道が整備され、阪神尼崎から尼崎の森中央緑地までサイクリングが楽しめます。

パドルボードやカヌーに最適

流れがゆるやかで、波も立たない運河は、パドルボードやカヌーなどの初心者には、格好の場所です。じっくり楽しむことが出来ます。



尼崎運河でまじっくイベント



楽しい運河クルージングが始まります

尼崎の森中央緑地でやりたいことを話し合う「森の会議」開催中!!



「森の会議」
毎月第1土曜日に開催
時間:10:00~12:00
会場:尼崎の森中央緑地
パークセンター



<http://ama21mag.jp/>

去年の12月から始まり、6月からは毎月第1土曜日に中央緑地パークセンターで開催している「森の会議」。これは「尼崎21世紀の森づくり」という壮大なプロジェクトのなかで、ひとり、ひとりの「こんなことしたい!」「こんな場所が欲しい!」などのアイデアを持ち寄り、必要なリソースや可能性を話し合い、実際に森でそのアイデアを実現させていくための円卓会議です。一般の公園ではなかなか実現できないことも、どんなルールをつくれば、



尼崎の森中央緑地の空を飛ぶマルチコプターにみんなで手を振っています

みんなに認められる活動になるのか。そんなルールもこの会議で決め、そのルールを使って、森にいろんな活動、プログラムが実現できるように、と、ますます森の魅力が高まります。これまで、模型飛行機愛好家の方が、「自分たちの飛行機を森で飛ばせば森の上空撮影することもできる」と、森の飛行機部の結成のアイデアを持ち込んだり、「いつかは森にピザ釜を作って、間伐材でピザを焼きたい」というアイデアに、お行儀のよいBBQやピザをやるアイデアを練ったり…と内容はさまざま。この広大な森をどう使いこなすかはアイデア次第なのです。森の会議は申し込み不要、誰でも参加できます。あなたのやりたいことが、みんなのやりたいことにつながるアイデアをお待ちしています。